

通し番号	記入不要
------	------

分類番号	30-6B-21-05
------	-------------

系統豚ユメカナエル維持集団の能力	
[要約] 当所で造成したランドレース種系統豚「ユメカナエル」の維持集団の能力を確認したところ、一腹平均総産子数は、10.2頭で認定時と同程度だった。子豚平均体重は生時1.5kg、3週齢5.9kg、8週齢19.2kgで、認定時の数値1.5kg、5.8kg、19.3kgと同程度の発育であった。一日平均増体重は、雄841.5g、雌799.5g、100kg到達日齢は雄146.8日、雌155.6日で認定時と同程度の発育であった。強健性の指標とした管囲は雄18.4cm、雌17.3cmであり、認定時と比べ0.8cm、0.4cm太かった。能力調査結果により、維持集団は認定時の能力を保持していた。	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

新たな国際環境に対応し、輸入豚肉価格に対抗できる低コスト生産を推進するため、平成7年度から繁殖能力、強健性に優れたランドレース種の系統造成を開始し、14年度に系統豚「ユメカナエル」が完成した。15年度以降は、維持集団の血縁係数、近交係数の上昇を抑制しつつ、改良された高い能力を保持するために、能力を調査している。

[成果の内容・特徴]

- 1 維持集団の大きさは、認定時と同じ種雄豚10頭、種雌豚35頭とし、平成30年度は雄2頭、雌6頭を更新した。総産子数は、雄343頭、雌309頭だった。体重30kg時の1次選抜では雄15頭、雌10頭を種豚候補とした(表1)。
- 2 一腹あたり子豚平均頭数は総産子数10.2頭、ほ乳開始頭数9.6頭、離乳頭数8.6頭で、育成率は89.6%、子豚平均体重は、生時1.5kg、3週齢5.9kg、8週齢19.2kgであり、いずれも認定時の能力と同水準であった(表2)。
- 3 一日平均増体重は雄841.5g、雌799.5g、100kg到達日齢は雄146.8日、雌155.6日だった(表3)。体長は雄109.7cm、雌110.4cm、前幅は雄33.6cm、雌32.5cmであった。強健性の指標とした管囲は雄18.4cm、雌17.3cmであり、認定時より0.8cm、0.4cm太かった(表4)。
- 4 1～3により、維持集団は認定時の能力を保持していた。

[成果の活用面・留意点]

なし

[具体的データ]

表1 維持の状況

項目		頭数
集団構成頭数	♂	10
	♀	35
分娩腹数		58
総産子数	♂	343
	♀	309
種畜候補頭数	♂	15
	♀	10
自場更新頭数	♂	2
	♀	6

表2 繁殖能力調査

調査項目	認定時	30年度
分娩種雌豚数	42	58
一腹平均		
総産子数	10.1	10.2
ほ乳開始頭数	9.5	9.6
離乳頭数	8.5	8.6
育成率	89.4%	89.6%
子豚平均体重(kg)		
生時	1.5	1.5
3週齢	5.8	5.9
8週齢	19.3	19.2

表3 産肉能力調査成績 (平均値±標準偏差)

調査項目		認定時	30年度
一日平均増体重kg (30~100kg)	♂	854.8 ± 88.0	841.5 ± 60.4
	♀	807.2 ± 83.7	799.5 ± 72.4
100kg到達日齢	♂	153.6 ± 9.7	146.8 ± 7.3
	♀	161.2 ± 13.2	155.6 ± 8.9

表4 100kg到達時の体型調査成績 (平均値±標準偏差)

調査項目		認定時	30年度	発育曲線
体長(cm)	♂	113.2 ± 3.3	109.7 ± 3.1	137.9
	♀	113.5 ± 3.3	110.4 ± 3.3	132.4
管囲(cm)	♂	17.6 ± 0.5	18.4 ± 0.9	17.1
	♀	16.9 ± 0.5	17.3 ± 0.8	16.5
前幅(cm)	♂	32.0 ± 1.4	33.6 ± 1.9	32.1
	♀	31.8 ± 1.5	32.5 ± 1.8	30.1

- [資料名] 平成30年度試験研究成績書  
 [研究課題名] 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立  
 [研究内容名] 維持集団における近交係数の変化に伴う各能力の変化  
 [研究期間] 平成15~32年度  
 [研究者担当名] 白石葉子、中原祐輔